

常磐東小学校 校歌

27

こかろも はれ ば れいと と き わ
 かがさる え に が や い と き わ
 あか ー さ い ー ー ー ー と き わ
 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

34

ー ひ が し の ー ま な な び ー や ー に ー よ る
 ー ひ が し の ー ま な な び ー や ー に ー や た だ
 ー ひ が し の ー ま な な び ー や ー に ー や た だ
 ー ひ が し の ー ま な な び ー や ー に ー や た だ

41

こし びく あき ふれ と てる か ね ー が な ー る
 しば と む ね た え と ぶ か せ ー の こ な ー る
 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー
 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

48

1, 2. 3.
 1, 2. 3. *f*

常磐東小学校

創 立 明治34年 4月 1日
校 歌 制 定 昭和38年 1月28日
制定時の校長 原 田 市 郎

校歌の由来

常東小では昭和39年に創立60周年記念行事を行うにあたり、校歌をつくろうということになった。そこで、中林きみを氏（現、市役所職員）に作詞してもらい、馬飼野昇氏（豊橋市在住、作曲家）に曲をつけてもらった。そして、翌年の39年3月に校歌碑が完成した。東の子は、胸をはって元気いっぱいに歌い続けるのである。

校風と伝統

岡崎市の北東、青木川に沿った山あいの自然環境に恵まれた地に、児童たちは、元気で伸び伸びと、しかも、たくましく育っている。

豊かでたくましい人間性と学ぶ力、創造する力の育成をめざして、求めて励む。積極的な人間の形成に日々努力している。

現在、複式校であり、児童ひとりひとりの自覚と学ぶ力を育てる指導にあたっている。

人とことば

一番印象に残っているのは、私の作った詞が碑に刻まれたことである。校歌碑のある学校は数すくないのではなかろうか。

また、詞の中で、「山ばとむれとぶ風の中」は、校歌としては思い切ったものであろう。

中林 きみを

三	二	一
日本のあすを わたしもぼくも 仰げよ明るい 常磐東の 山ばとむれとぶ	みんなの胸に せせらぎつづく 腕くむかげさえ 常磐東の 正しくきたえる	みどりを競う 朝日がのぼる 歌えよこころも 常磐東の よろこびあふれて
になうゆめ もっている 虹の橋 まなびやは 風のなか	ふれながら 青木川 かがやいて まなびやに 身とこころ	峰染めて 山の空 はればれと まなびやに 鐘がなる

（昭和四十年制定）